

Bell Forum ベルフォーラム 2012 SUMMER

地域と職員と共に栄えるチーム

医療最前線 整形外科の挑戦

TOPICS

No.37

第3回市民公開講座を開催

MDアンダーソンがんセンター研修報告

当院産婦人科の新しい取り組み

連載 登録医のご紹介

日出ずる国(富士山) 撮影:中山 耕輔



社会医療法人 生長会

ベルランド総合病院	TEL. 072-234-2001(代)
府中病院	TEL. 0725-43-1234(代)
ベルピアノ病院	TEL. 072-349-6700
ベルアンサンプル介護相談センター	TEL. 072-349-6752
ベルアンサンプル訪問看護ステーション	TEL. 072-349-6753
ベルアンサンプルヘルパーステーション	TEL. 072-349-6754
阪南市民病院	TEL. 072-471-3321(代)
健診センターベルクリニック	TEL. 072-224-1717(代)
総合健診センター府中クリニック	TEL. 0725-43-3500(代)
呼吸ケアセンターベルライフケアクリニック	TEL. 072-235-3101(代)
不妊専門クリニック府中のぞみクリニック	TEL. 0725-40-5033(代)
介護老人保健施設ベルアモール	TEL. 072-277-7711(代)
認知症高齢者グループホームベルアモールハウス	TEL. 072-277-7711(代)
ベル訪問看護ステーション	TEL. 072-239-1800
ふちゅう訪問看護ステーション	TEL. 0725-43-9375(代)
院外調理センターベルキッチン	TEL. 072-274-0331(代)
ベルランド看護助産専門学校	TEL. 072-234-2004(代)

社会福祉法人 悠人会

特別養護老人ホームベルファミリア	TEL. 072-234-2005(代)
介護老人保健施設サンガーデン府中	TEL. 0725-46-2001(代)
複合型福祉施設ベルタウン	
特別養護老人ホームベルライブ	TEL. 072-221-7002
介護老人保健施設ベルアルト	TEL. 072-221-7001
ベルタウン訪問看護ステーション	TEL. 072-221-7023
ベルタウン介護相談センター	TEL. 072-221-7004

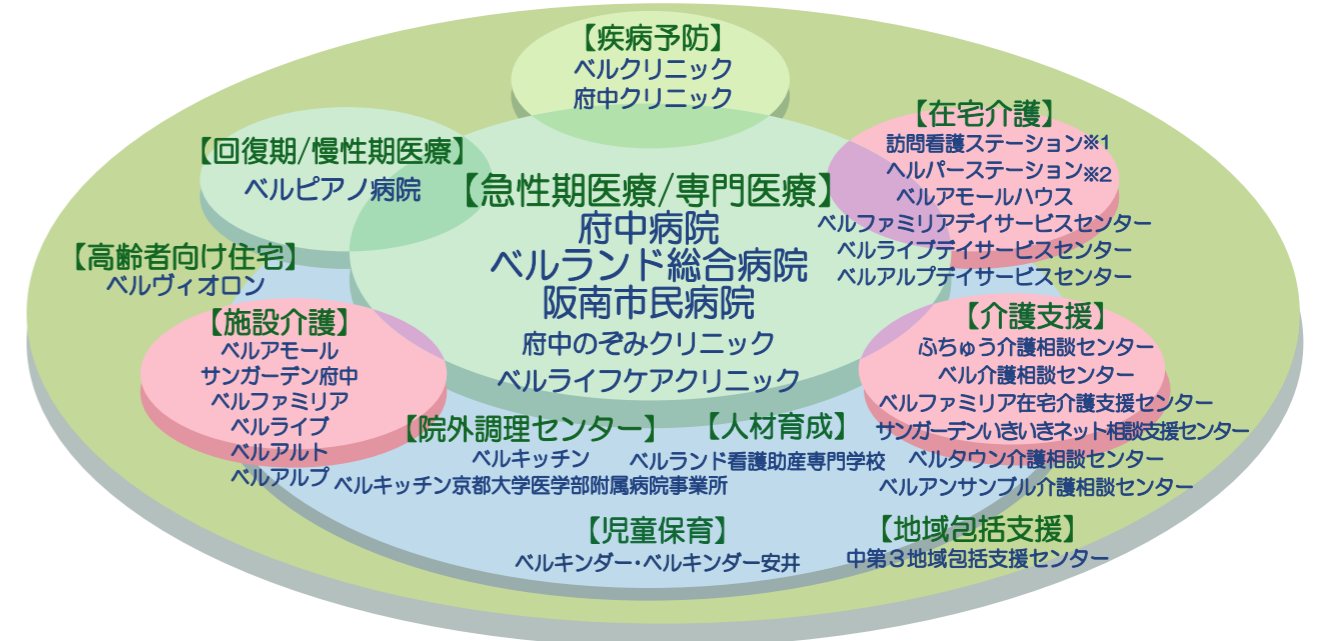
保育園ベルキンダー TEL. 072-221-7030

保育園ベルキンダー安井 TEL. 072-232-1188

保育園ベルキンダー安井分園 TEL. 072-225-0313

ベル介護相談センター TEL. 072-234-2171(代)

ふちゅう介護相談センター TEL. 0725-41-2621(代)



医療最前線

25 整形外科の挑戦

大阪の中・南部地域に居住されている皆様のあるゆる整形外科疾患に対して柔軟かつ十分な対応を

高齢化社会を迎え、整形外科を受診される患者さまの数はますます増加しており、常に皆様のニーズにお応えできるようスタッフ八名も日々研鑽努力をしております。当科の根幹

である骨折や外傷（交通事故や骨粗鬆症に伴う）の治療には、救急外来を含め従来どおり全員で対応させていただきます。さらに各医師の専門分野を最大限に生かした最前線の治療にも取り組んでいます。

一・骨・軟部腫瘍(担当 倉都)

平成二三年四月より、骨・軟部腫瘍の診療を開始しました。骨・軟部腫瘍とは骨や筋肉、神経、血管、脂肪など体の支持組織から発生するで

きもの(腫瘍)のことで、体のいたるところに発生します。全国的に見ても専門的に扱っている施設が非常に少ないのが現状ですが、当科では、CT、MRI、PET-CTなどの最新の画像診断と手術を含めた最先端の治療を行っています。

さらに転移性骨腫瘍に対しても、患者さまが快適な日常生活を送れるよう積極的な治療(外科的治療、放射線治療また骨破壊抑制効果をもつ薬剤の点滴投与など)を行っています。(図版①)

二・脊椎外科(霞井、前田)

頸椎症性脊髄症、頸椎後縦靱帯骨化症などの頸椎疾患に対し頸椎前方、後方手術を行い、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症などの腰椎の変性疾患に対して髄核摘出術、腰椎開窓術、また症例に応じてチタ

ン製の内固定材料を用いた腰椎固定術を行っています。(図版②)

三・人工関節外科(倉都、梅本、岡、有光、鈴木)

股関節、膝関節、肩関節、肘関節などの関節軟骨が変性して骨の破壊が進行した末期の変形性関節症や関節リウマチ、特発性骨壊死に対して当科では人工関節置換術を積極的にを行っています。また、より正確な手術が行えるナビゲーションシステムの導入も予定しております。(図版③)

四・手の外科(岡、有光)

手を含めた上肢の骨折・腱断裂・神経損傷などの外傷に対して早期の機能回復と社会復帰を目指し、専門的な手術加療を行っています。また外傷後の偽関節例や関節拘縮、リウマチによる上肢の変形・疼痛に対し

適切な再建手術とリハビリテーションによる治療を行っています。(図版④)

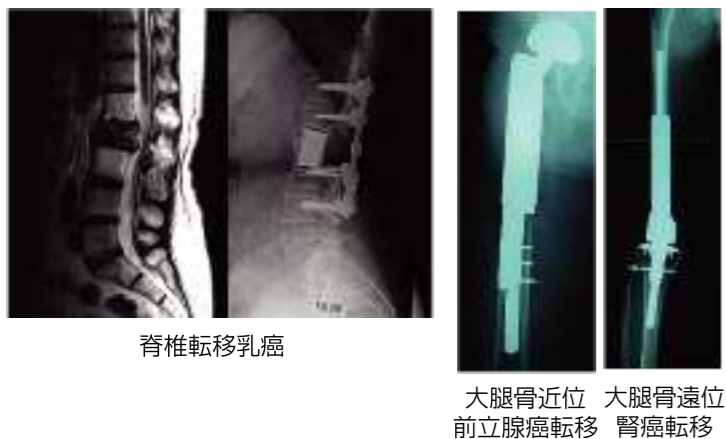
五・関節鏡視下手術(梅本、永山、岡、有光、鈴木)

関節手術において、従来は大きな切り口が必要でしたが、関節鏡視下手術では、安全かつ小さな傷で患者さまへの負担も少なくなりました。当科では、膝や手、肘関節に関節鏡手術を導入し、靱帯再建や半月板損傷、関節内骨折の補助に積極的に利用しています。

六・関節リウマチ(永山)

機能再建を目指し人工関節を含めた外科的治療も積極的に取り組んでいますが、最新治療である生物学的製剤投与により関節破壊や変形を予防あるいは疾患活動性を可能な限り低下させ、患者さまのより高い生活の質の向上を目指しています。

① 転移性骨腫瘍に対する治療



脊椎転移乳癌

大腿骨近位 前立腺癌転移
大腿骨遠位 腎癌転移

近隣の患者さまはもとより、堺市周辺あるいは大阪の南における幅広い医療圏の患者さまの要望に応えるべく一層努力をしていく所存ですのでよろしくご願ひ申し上げます。

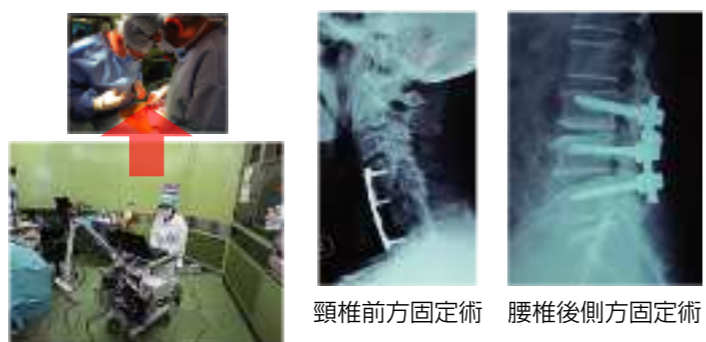
③ 人工関節置換術



症例に応じて行う単顆型人工膝関節置換術

股関節、膝関節とも人工関節置換術後、約一〜二日で全荷重歩行を開始し、三週間での退院。最小侵襲手術(MIS)による手術も行っていきます。

② チタン製内固定材料を併用した脊椎手術



頸椎前方固定術 腰椎後側方固定術

脊髄神経の術中モニタリング(安全性向上のため)

④ 手の外科



前腕骨折後の変形治癒を来たした症例に対して、三次元コンピューターシミュレーションシステムを用いて正確な変形矯正手術を行っています。

整形外科 リハビリテーション科 部長

副院長 倉都 滋之



【略歴】

昭和63年 大阪大学医学部研究生
平成1年 社会福祉法人大阪暁明館病院整形外科医員
大阪大学医学部病理病態学教室大学院生
大阪済生会泉尾病院整形外科医員
平成7年 大阪大学医学部助手
平成9年 大阪大学医学部講師(整形外科教室)
平成10年 独立行政法人国立病院機構呉医療センター整形外科医長
平成16年 同 骨・運動器センター長
平成23年 ヘルランド総合病院 整形外科部長
平成24年 ヘルランド総合病院 副院長 リハビリテーション科部長

【資格】

医学博士
日本整形外科学会専門医
日本リハビリテーション医学会専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
中部日本整形外科学会災害外科学会評議員

＜施設認定一覧＞

日本整形外科学会
認定専門医研修施設
骨・軟部腫瘍診断治療相談
コーナー設置施設

日本リハビリテーション医学会
臨床認定専門医研修施設



ちよこつとプロフィール

星座…双子座
血液型…B型
趣味…彫塑・音楽・瞑想・ゴルフ

登録医の
ご紹介

- 01. 標榜科は何ですか？
産婦人科・内科(ただし産科は妊婦健診のみ)
- 02. 医師を目指した動機(きっかけ)は？
一人の健康と命を護る聖職であるから
- 03. 診察する際に心掛けている事は何ですか？
「医学的概念」という主観にとらわれずに、宗教、芸術 etc を含めた全人的医療を心掛けています
- 04. 地域医療について
「地域医療に貢献することはホームドクターの使命と生き甲斐です」

新規登録医のご紹介



北区
なかむら胃腸肛門クリニック
中村 浩一 先生



診療科: 産婦人科・不妊外来・内科
住所: 堺市東区日置荘西町1-12-10
TEL: 072-285-8110

診察時間	月	火	水	木	金	土
9:10-13:00	○	○	○	休診	○	○
18:00-20:00	休診	○	休診	休診	○	休診

日・祝日休診

病院 DATA

- 05. 当院への希望・要望
「従来通り病診連携を充実して行って頂きたいと思っています。」
- 06. 最後の一言をお願いします
「これからもよろしくお願いたします」

NEWS

AZE展で入賞

二〇二二年二月二五日東京で開催されたAZE展二〇二二において、「経心房中隔穿孔法アブレーション手術/術前シミュレーション」というテーマで演題発表をしました。

AZE展は、ワークステーションを使用した画像解析の臨床的有用性を高め、最良の画像を生み出し、ポリウム画像の作成と解析の普及と発展を目的として開催されています。

電気的肺静脈隔離アブレーションの術前検査として、心臓CTを実施します。左房と肺静脈の形状把握を行うほか、左房の後方の食道や神経の焼灼熱による合併症としての左房食道瘻、横隔膜神経麻痺等の予防に有用です。私は当院で臨床応用している画像処理法と作成画像について発表し、入賞することが出来ました。

先進的な画像処理に取り組んでいる施設の処理法や解析方法など、新たな知識を得る良い機会にもなりました。

今後さらに質の向上と安全性の確保に貢献できるよう努めてまいります。

(放射線室 和田 大輔)



第三回市民公開講座レポート

乳がん予防・特別講演「明るくさわやかに生きる〜アグネスが見つめた生命〜」

五月十九日、国際障害者交流センタービッグ・アイにおいて、ベルランド総合病院第三回市民公開講座を開催しました。予定していた受付開始時刻を一五分繰り上げるほどの行列ができた。六〇〇名を超える方々に「来場をいただきました」。

一つ目の講演は、「あなたに伝えたい乳がんのこと」と題して、当院の乳腺外科副部長山崎圭一が、乳がん検診から乳房再建までを分かりやすく解説し

ました。元日本乳がん学会診療ガイドライン評価委員長である高塚雄一先生の進行で行われた質疑応答も含め、皆さん熱心に聞き入っておられました。特別講演では、「自身も乳がんの治療を経験されているアグネス・チャンさんをお招きしました。「明るくさわやかに生きる〜アグネスが見つめた生命〜」というテーマで、本当にさわやかに体験談を織り交ぜながらお話が進んでいき

ました。涙あり、笑いあり、「ひなげしの花」を歌われていた頃の記憶と全く変わらない明るく元気なアグネスさんのご講演に、来場者の皆さんと私たち病院職員も元気をもらうことができました。講演のエンディングには、「この良き日に」をアカペラで歌っていただき、会場は勇気と感動につつまれました。ご来場頂いた方には、大変満足して頂けたと思います。

最後に、アグネスさんの講演でも述べられた「がんが強い社会」の実現に向けて一歩でも前進できることを祈念します。

(理学療法室 技師長 高井 俊明)



乳腺外科 山崎副部長



ベルランド総合病院ボランティア 『ベル・フレンド』10周年

当院では水色のエプロンが目印のボランティア『ベル・フレンド』のメンバーが日々元気に活動されています。再診受付機や自動精算機の介助、外来案内、近隣薬局への同行、車椅子メンテナンス、ソレーシング活動、花の水遣りなど活動は多岐に渡ります。現在は五一名のメンバーが活躍されていますが、去る六月二日(土)長年活動されている一〇名の方々に、永年ボランティア活動者表彰式を開催させて頂きました。

第五回となる今回は、最長一五〇〇時間活動達成者や、男性の受賞者も三名いらっしゃいました。一回二時間の活動をコツコツと続けて頂いた積み重ねです。これからも、患者さまにより近い、病院と患者さまの橋渡しをして下さる心強い存在として、活動を続けて頂きたいと思っております。

また、ベル・フレンドは平成一四年六月から活動を開始し、今年で活動一〇周年を迎えました。今回、ベル・フレンドと病院ボランティア委員会・広報委員会の選抜メンバーで記念誌委員会を立ち上げ、『ベル・フレンド一〇周年記念誌』を発刊する運びとなりました。一〇年という期間の中で、様々な方との縁とご協力があり、現在まで活動を続けていられる感謝を少しでも皆様にお伝えする事が出来ればと考えております。ボランティアグループらしく、手作り感いっぱい記念誌になりました。

院内正面玄関付近にも記念誌を設置しておりますので、是非ご来院された際にはお手にとり頂けましたら幸いです。(患者様相談室 佃 由花)

ベルランド総合病院 産婦人科外来のご紹介

ベルランド総合病院産婦人科外来・病棟では、『生む力生まれる力』を最大限に発揮できることを目的としたケアを行っています。当科の特色は、妊娠初期から医師の診察に加えて助産師による保健指導を行い、安心な医療・看護ケアを提供していることです。また、外来と病棟を同じフロアに配置し、スタッフも常に行き交うシステムを採用することで、ケアの継続性を保障しています。

情報の氾濫や核家族化などの影響で、様々な悩みを抱えておられる妊婦さんやご家族が増えています。お腹に命を宿し、不安や期待・喜びの中で新しい家族を迎える準備をしておられるご家族に向けて、わが子を愛し、楽しく子育てができるように、妊娠から育児編までを綴った冊子を使用し、集団指導・個別指導での援助に取り組んでいます。携帯可能なサイズで、新しい情報や変更点があれば差し替え可能なラライ

ル形式として、タイムリーな情報提供を心がけています。

母乳育児を推進しています
赤ちゃんに負担の少ない最良の栄養である母乳を、お母さん自身が与えられることを目標にしています。そのために、妊娠期から、赤ちゃんが母乳を口を含むその日まで、お母さんの準備教育を実施しています。

出産直後からの母子同室を実施しています

退院後の「赤ちゃんのいる生活に」スムーズに移行できるように、入院中は可能な限り赤ちゃんとお母さんが一緒に過ごせる母子同室を、出産直後から開始しています。その他の試みとして今年度から、入院中の不安や様々な疲れを和らげようとアロママッサージを始めました。また、



今年で5回目を迎えた 永年ボランティア活動者表彰式



記念誌の表紙



ボランティア総会後の集合写真



助産師外来

産後に提供されるお祝い膳はお母さん方の喜びや悩みを分かち合う場となり、おり、どちらもご利用された方々から好評を得ています。(東第二病棟 リーダー 富田 正美)



両親学級



(左)わが子の1年間の思い出を記入できるアルバムと授乳枕を出産された方1人ひとりにプレゼントしています (右)妊婦さんの指導に使われている冊子。

MDアンダーソン
がんセンター 研修報告

平成二四年三月、アメリカのテキサス州にある「MDアンダーソンがんセンター」に研修に行かせて頂きました。全身麻酔手術であっても「サイバーナイフ」が標準化され、入院の場合でも在院日数七・二日と短期間です。入院早期から退院支援を見据えて、機能的な介入も実践されていました。治療やケアは全てエビデンスに基づいており、スタッフ全員が周知し、自信を持って実践されているのが印象的でした。

患者に対してチームで介入されていて、医療者間のコミュニケーションが充実し、それぞれの立場で患者と関わりを持ち、患者の意志を表出できる場面も多く見られました。他職種への介入依頼も早く、アセスメント能力の高さも感じました。

五日間を通して医療者に欠かせないコミュニケーションのあり方を学び、病院のビジョンや使命が全スタッフに浸透し、自信をもつていきいきと働く姿は私自身の今後の看護師としての目標になり

ました。また記録や物品管理、ケアなどすべてが機能的で無駄がなく感銘を受けました。医療現場では、標準化、ケアの統一といいながら、各部署の独自の方法や手段が行われている現状が多くみられます。患者の考え方や思いがおきざりになっているときもあるように感じます。多職種の垣根もまだまだ取り払っていません。患者を中心とした看護を自信を持って提供できるよう、努力していきます。

(東第六病棟 主任 藤原 真喜子)

修了証を手に



の発症リスクを少しでも下げないように、リンパ浮腫について適切な指導を受けることが大切です。

当院では、患者さまが安心して質の高い治療・ケアを受けて頂けるように、またリンパ浮腫を発症した際には、より早く適切な治療を受けて頂けるように、我々セラピストが中心となってリンパ浮腫に関する専門的指導・技術を提供致します。

(作業療法室 リーダー 島崎 寛将)



第5回南大阪
消化器地域連携Forum

六月一六日(土)にホテル第一堺で第五回南大阪消化器地域連携Forumを開催致しました。当日は雨天にも関わらず、院外四〇名・院内二七名の方々

にご参加いただきました。

今回は、C型肝炎の最新治療であるインターフェロン三剤併用療法に関連して、近畿大学医学部附属病院の皮膚科川田暁教授に、注意すべき皮膚病変について講演いただきました。

三剤併用療法では皮膚障害が高頻度に認められます。講演では、軽症から重症まで、様々な皮膚障害をスライドで示し、対処法や薬剤の中止時期について、あるいは皮膚科対診や大学病院紹介のタイミングなどを説明していただきました。

一般演題として、看護師から、補食・内服指導方法や、皮膚病変のフローチャート作成などの統一した看護指導について発表しました。また、消化器内科部長安辰一より、最新のガイドラインについて講演致しました。

当院でも本年二月から三剤併用療法が開始されており、有意義な講演となったと思われま。

今後とも地域の医療機関と連携し、更なる医療の質向上を目指します。(地域医療連携室 下川絵美)

MDアンダーソンがんセンター外観



MDアンダーソンがんセンター概要

テキサスメディカルセンター内
42施設のうちの一つ
入院数: 23995件/年
平均可動ベッド数: 546床
外来患者数: 1132338人/年
総臨床試験数: 1009件
雇用スタッフ数: 18000人
ボランティア数: 1200人
平均在院日数: 7.2日

リンパ浮腫治療
セラピスト資格取得

「Vodder」Dr. Vodder School認定「Vodder (ボダー)式MLD/CDTセラピスト」の資格を取得しました。

今回取得した「Vodder (ボダー)式MLD/CDTセラピスト」は、国際リンパ学会でも認められているリンパ浮腫治療(MLD・マニュアルリンパドレナージ)を世界で初めて施術し、治療法として体系化させたDr. Vodder氏が設立したDr. Vodder School (オーストラリア)の講師の指導(全カリキュラム一六〇時間)を受け、最終試験に合格したものに認められる資格です。

「リンパ浮腫」はさまざまな理由で発症しますが、その代表的なものはがんの手術や化学療法、放射線治療などです。これらの治療を受けた一部の方に現れる後遺症ですが、我が国では、現在リンパ浮腫治療ができるセラピストの数が少なく、対応できる医療機関も限られているのが現状です。

また、リンパ浮腫になる可能性がある、手術などの治療を受ける際には、そ

脱失症についてご講演いただきました。

特別講演Ⅱでは、N T T 東日本関東病院皮膚科部長 五十嵐敦之先生に、二回二回目のご講演をいただきました。「プライマリケアに役立つ顔の皮膚病豆知識」というテーマで、診断のポイントをわかりやすく解説していただきました。

この会は、日常診療に役立つ内容を、医師以外の職種の方々にも情報提供することを企図しています。今回も参加人数が一〇〇名を越す盛況な会となりました。

(地域医療連携室 三上 真理)

第7回泉北地区
病診連携皮膚科の会

六月二三日(土)、リーガロイヤルホテル堺において「第七回泉北地区病診連携皮膚科の会」を開催いたしました。

特別講演Ⅰでは近畿大学医学部皮膚科准教授大磯直毅先生に「色がぬける皮膚の病気」とくに最近のトピックスについて」というテーマで、メラニンの産生、後天性色素脱失症、先天性色素



(右上)近畿大学川田教授
(右下)消化器内科安部長
(下)神田看護師



(上)近畿大学大磯准教授



(下)NTT東日本関東病院五十嵐先生

特集 郷土史 東山地域の誕生

現在ベルランド総合病院が立地している堺市中区東山。ここは、いつ頃、どのように開発されて人が住むようになったかがわかる珍しい地域です。全国的にみれば、集落や農地がどのようにできたのか、はつきりとわからないことが多いのです。

江戸時代、もともと東山は松の木に覆われた山で、人が住んでいませんでした。寛文八（一六六八）年に、東山を支配していた堺奉行の水野伊予守は入札によって山を開発する者を決定しました。選ばれたのは大坂（現・大阪市）の梅川七左衛門と堺（現・堺市堺区）の

大和屋長右衛門です。同年から開発がはじまり、三年後に開発地が測量され、畑が六六町四反五畝一六歩、田が三畝一二歩でした。開発地の名称は「東山新田」とされました。六六町とは甲子園球場グラウンドのおよそ五〇倍の広さです。この土地は二人で等分して管理することになりました。

梅川と大和屋は田畑を耕作する百姓を募集し、その百姓から収穫物を得ようとした。しかし近辺から百姓が集まらず、せつかく開発した土地の耕作者が不足します。彼らは水野から開発・土地管理を請け負っており、年

貢を水野に納めねばなりません。耕作者が足りないとい収穫量が限られます。

大和屋は年貢が納められなくなつて、土地を水野に取り上げられてしまいました。一方、梅川は管理者として存続し、貞享四（一六八七年）には、彼の土地の耕作者で東山新田に居住する百姓（家の戸主）が四四名となつていました。そのうち東山新田のすぐ近くの出身の人はごく少数で、いまの河内長野市・八尾市・東大阪市や奈良県からやってきた人が多くを占めました。梅川は土地は東山新田の半分なので、残りの土地の耕作者もほぼ同数と考えると、

この頃、東山新田の家は九〇軒前後だったでしょう。

このように東山では、現在から三五〇年ほど前に、水野伊予守や梅川七左衛門・大和屋長右衛門が大きな役割を果たして、遠方からやってきた農家九〇軒前後で畑作中心の集落生活が始まりました。実は東山の近くでは土塔・土師・畑山・福田など、細かい事情に違いはありますが、同じように江戸時代に切り開かれてきた地域が多くあります。堺市の山手地域の共通のルーツがこの時代にあつたと言えます。

（参考文献）

堺古文書研究会編『泉州の新田開発』（一九九八年）
地図資料編纂会編『正式二万分一地形図集成関西』（柏書房、二〇〇一年）

（文）地域医療連携室 岡本一也
大学院で日本近現代史を専攻し、明治・大正・昭和期の泉州農村のくらしについて研究。著書に『和泉市史編さん委員会編『池田谷の歴史と開発』（二〇一一年、共著）、ほか多数。



① 明治42(1909)年の東山地域。矢印で示しているところは現在ベルランド総合病院が建っている場所。（『正式二万分一地形図集成関西』をもとに加工）



① ベルランド総合病院とその南にある森。この森は「ベルの森」という名称の堺市指定保存樹林で、新田開発以前の森が残ったものと思われま。

ベルランド総合病院への交通

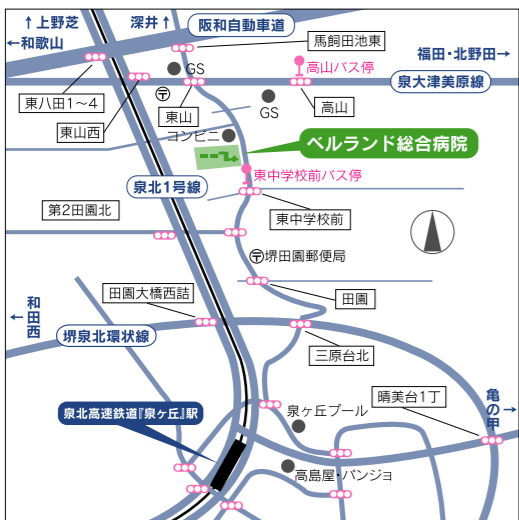
電車とバスをご利用の場合

泉北高速鉄道「深井駅」より

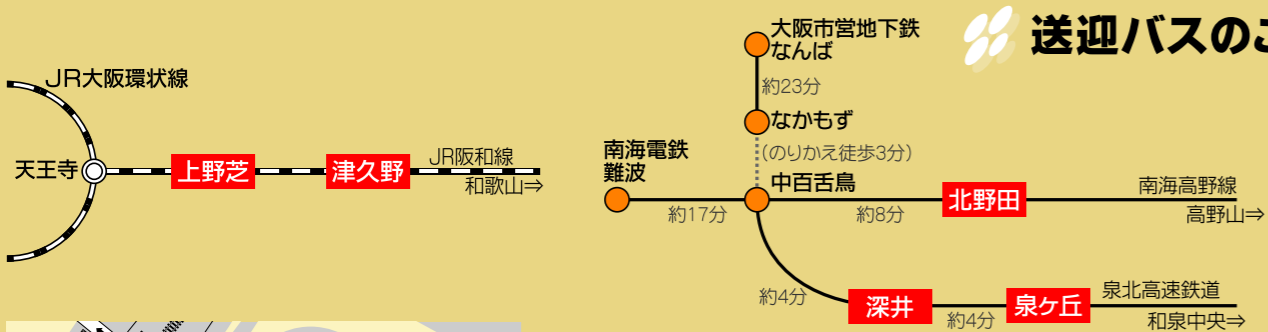
南海バス<泉ヶ丘行き・あみだ池行き>
東中学校前バス停下車徒歩1分
または<北野田駅前行き>高山バス停下車徒歩5分

南海高野線「北野田駅」より

南海バス<西区役所前行き・東山車庫前行き・深井駅行き>
高山バス停下車徒歩5分



送迎バスのご案内



【泉ヶ丘駅発】	【ベルランド総合病院発各駅行き】
7:30-13:45まで 毎時00・15・30・45分発 14:00-19:30まで毎時00・30分発	7:20-13:50まで 毎時05・20・35・50分発 14:20-19:20まで毎時20・50分発
【北野田駅発】 8:45-17:15まで毎時15・45分発	8:30-17:00まで毎時00・30分発
【上野芝駅発】 8:35-15:35まで毎時35分発	8:15-15:15まで毎時15分発
【津久野駅発】 8:20-15:20まで毎時20分発	8:00-15:00まで毎時00分発
【深井駅発】 8:35-15:35まで毎時35分発	

病院受付でも時刻表を設置しております。あわせてご利用ください。